

チーム順位表<第11節終了時点>

	チーム名	勝点	試合	勝数	分数	負数	総得点	総失点	得失点差
1	筑波大学	19	11	5	4	2	24	13	11
2	流通経済大学	18	10	5	3	2	17	18	-1
3	明治大学	18	10	5	3	2	21	12	9
4	早稲田大学	17	10	5	2	3	18	12	6
5	慶応義塾大学	15	10	4	3	3	19	20	-1
6	専修大学	13	10	4	1	5	23	21	2
7	順天堂大学	13	10	3	4	3	13	13	0
8	国士舘大学	12	10	3	3	4	18	21	-3
9	中央大学	11	11	2	5	4	16	17	-1
10	駒澤大学	10	10	2	4	4	14	20	-6
11	神奈川大学	10	10	3	1	6	10	17	-7
12	青山学院大学	9	10	2	3	5	14	23	-9

<得点ランキング>

- 1位 阪野豊史(明治大) 9得点
- 2位 長澤和輝(専修大) 7得点
赤崎秀平(筑波大)
- 4位 曾我敬紀(筑波大) 6得点
武藤嘉紀(慶応義塾大)

<アシストラランキング>

- 1位 上村 岬(筑波大) 5
町田也真人(専修大)
- 3位 関 隼平(青山学院大) 4
- 4位 砂森和也(順天堂大) 3
三田啓貴(明治大)
車屋紳太郎(筑波大)
金子昌広(国士舘大)
工藤隼人(神奈川大)
瀬川和樹(国士舘大)

(→)中大戦では、試合前に選手らがスタンドへ近づき、応援を含めた駒大サッカー部全員で円陣を組んで、気合いを入れた。現在10位という苦しい状況のなか、日の目を見るため部員全員が思いを一つにし、チーム一丸となって戦っていく。



大敗というか、5失点はがっかりだった。キーパーが一番気落ちしてしまつて、精神的に弱いものも含めて情けない。でも仕方ないこと。
(失点シーンは左サイドがほとんど。濱田が抜けて山本が入ったが、山本が全然守備をやらないうてあそこからがほとんど。濱田を変えたのが失敗だったかもしれない。肝付は次節を見据えて使ったが、先の話しをやっている場合ではなかった。あまりよくなかった。(途中出場の選手は負けている状況で出て行って、ボールを取りに行かなければいけないところを見ているだけで、失点をどんどんしていつてしまった。いろんな面だったのだと思う。
まだ甘い。出直します。このメンバーでやっていくしかないので意識持つてやっつく。

November
COFFEE
t

第2節 慶大戦プレビュー

前節の中大戦で、リーグ前半戦が終了した。折り返しとなる後期の初戦の相手は慶大。前期の慶大戦では、それまで不調に喘いでいた駒大の攻撃陣が爆発し、3対1で勝利を収めている。一方で現在5位の慶大も、前節の筑波大戦で逆転負けを喫するなど、ここ2節白星がない。上位争いに食い込むため、全日本大学選抜にも選出されたMF河井陽介を必頭に、全力で駒大ゴールを狙ってくるだろう。
一度は8位に浮上したが、10位に再び転落してしまつた駒大。湯澤洋介(政3)は「死にもの狂いで頑張る」と語る。後期初戦を白星で飾り、巻き返しを図りたいところだ。

